



# 市議会だより



剣の舞いで豪快にエイッ！（三本木ひまわり園）

12月定例会

## 主な内容

- 一般質問（産業振興等）……………2～11ページ
- 一般会計補正予算15億7,050万5千円を可決……………12～15ページ
- 常任委員会活動報告……………16ページ

# 一般質問



市政に対する一般質問は、12月14日、17日、18日（3日間）の日程で、議員定数34人中、27人が市長の見解を問いました。要旨は次のとおりです。



中鉢和三郎

## 放射能問題

**問** 畜産農家の庭先に一時的に保管されている、放射能に汚染された稲わらや牧草の扱いが問題になってきている。

**答** 隣の加美町では、町が一時仮置き場を設置し、汚染された牧草を農家にかわって一時保管することを決めた。本市においても同様の措置が求められるが市長の所見を伺う。

本市の畜産農家に保管されている汚染牧草は5千トン程度あるものと推計している。汚染稲わらと異なり汚染牧草は線量が低く、最終的には一般廃棄物として市が処分することとなっている。しかし、焼却施設の処理能力やセシウムが気化しないように、約600度を超えない温度で焼却する必要があることから、現状では焼却処分の目途が立っていない。したがって、当面の処置として一時保管場



八木 吉夫

## 産業振興

**問** 第三セクターの民営化をどうするか。

**答** 地域経済活性化の実現と雇用の創出を目的に設立されたものであり、安定的で自立した運営ができるよう社会情勢の変化に対応した会社運営や、収益構造の検討、問題点の把握や経営改善に努める。指定管理料については、更新の際に運営状況等を勘案し検討する。

**問** 鬼首の放牧場や牧草地で、富良野のラベンダー畑のような観光農園設置の考えは。

**答** 草花を活用した大崎市のブランド力アップ、観光客の集客、特産品開発等の取り組みについて関係機関とともに研究していく。

**問** 農業収益の増収を目的とした果樹振興策は。

**答** 農業経営の多角化や6次産業化を支援していく必要が

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 鳴子峡遊歩道の再開に向けた取り組み
- ・ 林業振興
- ・ 原子力災害対策

ある。果樹振興策として、庭先果樹の実態調査や環境の変化を踏まえ、丘陵地帯での栽培や加工販売などを検討していく。

**問** 環境景観治水等を踏まえた目的税導入のための農林業環境整備の考えは。

**答** 平成25年度からは林業においても森林管理・環境保全直接支払制度が実施される予定となっており、当面この制度を活用し、持続可能な林業の推進と森林の多面的機能の維持に努める。





富田 文志

## 入札の現状と課題

**問** 震災後は入札数に対する中止、不調の件数が大幅に増加しているが、その理由と原因分析は。また、予定価格と最低制限価格、調査基準価格の違いと入札不調の関連は。

**答** 建設工事の入札不調件数は、今年度119件のうち45件発生している。その主な原因は、震災の復旧復興工事が本格化し、技術者の不足や労賃、資機材等の高騰が理由である。

なお、今年度の建設工事で予定価格に達せず不調となった契約は10件で、その一因としては、予定価格のもととなる設計価格の単価と実際の市場価格の乖離が考えられる。

次に、予定価格とは、契約金額決定の基準として設計価格をもとに設定するもので、最低制限価格は、一定価格未満の入札者を自動的に失格とする制度に基づく価格で、調

査基準価格は、一定価格未満の低入札があった場合に、その工事の適正な履行の可否を調査の上、落札者を決定する制度に基づく価格である。

市では、スピーディーな災害復旧復興を進めるために、契約事務を早期に完了させることができる最低制限価格制度を引き続き行っていく。

**問** 震災対応に目途が立った時点での最低制限価格から、調査基準価格への制度移行は。移行の方向で改善に努めていく。

## 未来を担う子どもたちの教育環境の充実



只野 直悦

**問** 校外学習の必要性和スクールバス確保の観点から、①大崎市学校教育環境整備指針では、地域の学習は副読本など教材で学ぶとのことだが、校外学習が重要ではないか。②今年度からスクールバスが民間委託となり、利用回数が前年度との比較で406台から294台と大幅に減少した。十分な対応への考えは。

**答** ①校外学習の必要性の認

識は同じである。②バスの利用は学級数をもとに統一した基準で行っている。できるだけ各学校のバスの校外利用に配慮されるよう、相互に調整を図っていききたい。

## 姉妹都市提携のあり方

**問** 旧田尻町では同じ町名が縁で、平成3年に大阪府田尻町と姉妹都市提携を結び、議会や中学生など幅広く交流を

行ってきたが、合併後は休止状態である。震災後、義援金をいただき、さらに消防自動車をいただくことになっている。これを契機に、大阪府田尻町との交流を是非検討すべきと思うが。

**答** 大阪府田尻町長が友好都市締結から3代目の町長になり、交流の歴史が希薄になっていることから、相手方の意向も踏まえ、今後の交流を前向きに検討していく。

### 掲載以外の主な質問項目

・大崎・豊岡・佐渡市のエコロジカルネットワーク



佐藤 弘樹

## 将来を見据えた産業振興戦略



大崎市観光ポスター

**問** 本市では、昨年10月25日に大崎市シティフロムーション推進協議会を設立し、地域の魅力創造やブランド創出、全国への情報発信に取り組むとのことだが、具体的な戦略や体制構築の現況はどうか。

**答** 合併以来、ブランド確立に取り組んできたものの戦略が不十分であったため、平成22年度から商工団体等と調査検討を重ね、昨年、推進協議会を設立し体制を整備した。

今後は、市全体で産業振興や地域づくりと連携を図りながら事業推進に取り組みたい。

**問** 本年4月の仙台・宮城D Cに向け、1回目の反省や課題を生かした観光戦略への考えとウエブの活用策は。

**答** 各イベントのPRや体験型メニューの準備等、プロジェクトを編成し、受け入れ態勢を整えている。

## 職員提案制度

**問** 今後のまちづくりや市民協働参画を尚一層進めるためにも本制度を導入すべきでは。

**答** 企画及び職員の勤務体制をはじめ、財政や配置等の選考体制構築に時間を要するが、他自治体での導入実例を参考にしながら検討したい。

### 掲載以外の主な質問項目

・防災士資格取得補助制度  
・消防団各資機材整備



佐藤 和好

### 企業誘致と オーダーメイド用地整備手法

**問** 本市は、企業誘致に必須である用地造成を既存工業団地の切り売り優先とし、進出企業がなければオーダーメイド方式での対応としてきたが、

**答** 既存工業団地の切り売り目途は、石田工業団地に今年度1社の企業誘致が実現し、残り2区画0・9ヘクタールとなっているが、進出企業の駐車場等への活用が検討されている。鶴田工業団地は残区

画0・6ヘクタールとなっている。

**問** 一定の目途がついたのであれば、企業が望む用地のオーダーメイドは、期間短縮、費用圧縮が条件となるが、その手法について具体的な検討はされたのか。

**答** オーダーメイド用地の整備期間と事業費の圧縮については、企業側の要望に即座に応えられるよう、これまで音無と南谷地の2地区の調査測量を実施した。今年度は北原地区の調査事業を行い、できるだけ短期間で用地引き渡し可能となるよう、各造成条件の整備を進めている。

また、企業の安価用地への希望傾向から、公共事業発生残土の活用も含め、関係機関との協議を進めていく。



鶴田工業団地（松山地域）

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 地域防災計画改定の進捗状況と策定見直し
- ・ 大崎市発注建設工事の建設副産物適正処理対応



佐藤 清隆

### 乳幼児医療費助成制度の 年齢引き上げ

**問** 乳幼児医療費助成の年齢引き上げについては、これまでは財政上の事情から検討を要するとしてきたが、現時点ではどうか。

**答** 本市の子育て支援策の最優先課題は、保育所待機児童の解消だった。

乳幼児医療費助成は国・県に要望し、本市も検討している。

#### 新病院建設問題と 建設後の運営

**問** 工事請負契約は、震災前だったので予想よりも安く提案内容も良かったが、大震災で状況が一変し、資材の高騰や人手不足、ヒ素問題での工事遅延等で事業費の増額が考えられるが、最終事業費はどのようになるのか。

また、開院後の診療科の内



遊佐 辰雄

### 観光対策

**問** 新たな観光対策と風評被害からの脱却について、

- ① DCに向けての対策と風評被害からの脱却は。
- ② スポーツのイベント、合宿練習や大会の誘致を積極的

にすべきでは。

③ 大崎市松尾芭蕉全国俳句大会を開催すべきと思うが。

**答** ① 菜の花まつり、潟沼ウォーキング、食の商品化、着地型観光等のリピーターになつ

てもらおうようにしたい。

② 温泉しゃもじ卓球大会をはじめ、横綱白鵬関が所属する部屋の合宿を提案している。

大崎観光公社を軸に、首都圏の学校クラブ活動、各団体等への誘致活動を図りたい。

③ 陸羽東線湯けむりライン協議会を軸に、美里町、最上町、舟形町、新庄市と連携した俳句イベント開催の準備を進めている。また、市内俳句団体

容と医師、看護師不足の中、新病院の機能に見合う医療スタッフの確保も伺う。

**答** 著しいインフレ状況なのでスライド条項に基づいて協議中だが、当初の全体事業費におさめるのは困難である。

また、医師の11名増員は東北大大学院にお願ひし、看護師の120名の増員はさまざまな募集努力と離職防止に努める。

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 住宅リフォームの助成延長

への協力要請も行っていく。

**問** 食楽まつりの成功と食の大崎を目指し、積極的援助をすべきでは。

**答** 成功のためしつかり取り組みたい。

**問** 温泉熱の利用と源泉の種類の豊富さを、もっとPRすべきでは。

**答** 温泉熱での乾燥野菜等に取組んでいるが検討したい。

**問** 陸羽東線開通100周年記念に向けての、芭蕉全国俳句大会や観光戦略はどうなのか。

**答** 100周年に向けて種々準備しているが検討したい。





関 武徳

### まちづくりと産業振興

**問** 本市の交通動脈は、他の自治体より特に優位性があり、この環境を企業誘致や観光振興に生かすべく、企業誘致方針でも用地をオーダーメイド方式としているが、企業誘致の現状と課題をどう認識しているのか伺う。

また、東西約80kmに及ぶ本市において、幹線道路を補完する市道路線の不備や中心部の回遊性、人や物の効果的な

動線効率に欠けるが、課題認識と解消への考えは。

**答** 優良農地の本市は、工場用地価格の割高、排水処理設備の負担増加等の課題がある。自動車関連では、短期間で操業できる空き工場のニーズが高いが、見合う物件がないのが実情である。こうした中でも、T G東日本株式会社が進出し、25年1月から操業する。今後も地の利を生かし、



大友 文司

### コミュニティセンターの建設

**問** 一時避難所に利用可能な施設として、古川地域の各地区には集会所やセンターと言われるコミュニティ施設があるが、中心市街地にはこれらのコミュニティ施設が不足している。

さらに、旧古川市でコミュニティ施設用地として取得した土地が、いまだ更地の現状であり、地域の人々が一日も早い建設を待望している。こ

のことについての見解を伺う。

**答** 一時避難所として利用できるコミュニティ施設は、東日本大震災の際に身近な一時避難所として利用された。地域のコミュニティ施設は、

自助、共助、公助の考えに基づくものであり、古川地域の市街地には5カ所設置して、指定管理で運営している。また、中里・駅南地区から施設建設の要望をいた、だいて

企業の求めにかなう用地整備の検討と、空き工場や民有地の活用等で誘致につなげたい。また、幹線道路を補完する環状道路や地域連携道路の整備は進めているが、時間を要する。今後とも、国の交付金事業等を活用し、整備に取り組みたい。

- 掲載以外の主な質問項目**
- ・次年度予算編成と運営方針
  - ・市民活動と行政のかかわり
  - ・自主防災組織の拡充策

おり、中心部の人口は増加しているため、その必要性は感じている。今後、課題も踏まえて地域の皆さんと話し合いを進める必要があると考えている。

**第4回 定例会**

議会中継 (LIVE) アクセス件数 **932** 件

**第4回 定例会**

傍聴人数 **56** 人

※皆様の傍聴をお待ちしております。



後藤 錦信

### 木質バイオマス発電の導入

**問** 東日本大震災の発生による福島第一原子力発電所の事故を契機に、再生可能エネルギーへの期待が高まっている。木質バイオマス発電も注目

されており、林業振興との兼ね合いから雇用の創出や、森林整備促進による公益的機能の充実が図られるので、多少のリスクはあるものの前向きに取り組むべきではないか。

**答** 木質バイオマスの有効活用は、豊富な森林資源を有す

る本市の重点施策である。平成26年度に加護坊温泉さくらの湯へ木質バイオマスボイラーの導入を計画している。

また、川上から川下に至る流通体制の構築等、今後も関係機関との連携を進め検討していく。

### 有害鳥獣捕獲対策

**問** 熊やイノシシ等の鳥獣被害が最近多発している。

今後その防止対策の取り組みを強化する必要があると思うがどうか。併せて、有害鳥獣駆除の担い手確保対策、関係機関との連携について伺う。

**答** 法改正により捕獲隊のメリット等が新たに措置されたので、早期の協議会設立に向けて各猟友会と調整を進めながら、J Aや農業共済組合、森林組合等との協議も重ねていく。

- 掲載以外の主な質問項目**
- ・森林ビジョンと経営計画



加護坊温泉さくらの湯 (田尻地域)



小堤 正人

### 地域振興策

**問** 平成23年度産牧草については、各農家で一時保管されている。これを行政で一括一時保管すべきではないか。さらに、最終処分の見通しと時期は。

**答** 市内には約5千トンの牧草が保管されている。地域の理解をいただき、旧市町単位で仮置き場を設置したい。

また、モニタリング調査の結果、焼却可能ではあるが、焼却場では震災瓦れき処理も



一時保管されたままの牧草

あり、今後広域行政事務組合と協議し、25年度の牧草収穫には支障のないよう努力したい。

### 鳴子放牧場の除染

**問** 福島原発の放射能汚染により牧場は運営されていない。

**答** 早急な除染対策に加え、同様の問題を抱える自治体と連携し賠償交渉に当たるべきでは。

**問** 表土が薄く耕起が不可能で、専用の破砕機による処理が必要となる。賠償については東京電力と協議中で、他市町と情報を共有し、早期再開に向けて手続きを進めたい。

### 林業振興

**問** 価格の下落で林業者の意欲が減退し、再生産が不可能な中、製材所の存続が重要施策ではないか。また、市内の住宅や公共建築等への地元産材の活用策は。

**答** 木材加工場の整備は国の事業を活用し、大崎産材は地元で活用できるように、地産地消を進めたい。



佐藤 勝

### 市民満足度を向上させる新しいシステムの再構築

**問** 市民の行政に対する期待度は大きい。しかし不信感は根強い。

**答** 行政改革による人員削減しわ寄せの影響から来る「協働」なのか、という市民が多いが、高まる行政不信に対して検証をしているのか。

また、職員の現場主義のあり方と市民の声を聞くために汗をかくことが少な過ぎるが、協働の理念と職員のあり方は。



佐々木 惟夫

### 伊藤市長の政治姿勢

**問** 都市交流事業については、鋭意検討してある一定の方向性を出すべきと思う。

**答** 大崎市として今までどおり、各地域において交流を進めていくのか。

**問** 交流事業は相手自治体の状況もあることから、意向を確認の上で、お互いに有益な交流になるような検討を行い、進めていくことが重要だと考えている。

**問** 地域の中で互いに協力し、助け合う意識の醸成ができるような働きかけが必要で、職員減員に伴う組織機構の再編を25年4月に行う。

**答** また、市民活動と積極的に連携できる職員の育成が必要でもあり、一市民としてまちづくりを進められる職員、市民に対して職員一人ひとりが丁寧に対応し、満足度につながるよう、組織機構の中で検

**問** 奨学資金の平成23年度の収入未済額は2千万円以上であるが、収納対策について、臨時職員を雇用して収納率を高めるべきと考えるが。

**答** 奨学金の収納対策のみにさらに力を入れることは、実情として難しいところがあり、今後は業務の見直しや臨時職員の雇用が可能であるかどうか検討していく。

**問** 小学校の統廃合問題につ

討したい。  
**問** 都市部の団塊世代ジュニアは、農山村の生活空間の場を求める傾向が強い。

**答** 各地域のまちづくりに外部登用した職員の配置と、外部人材の若い年代が地域づくりを担う「地域おこし協力隊」への名乗りを総務省に挙げよ。

**問** 地域を知らない方々から見ると、新鮮に映ることもある。今後の地域づくりに生かせるよう検討したい。

いて、大崎市学校教育環境整備指針の前期計画では、下伊場野小学校を松山小学校に統合するとしている。

**問** この統廃合問題で、地域住民や保護者への説明会、懇談会等については現在どのような状況であるのか。

**答** 下伊場野小学校は、保護者、地域関係者の方々の理解を得るには至っていない。引き続き、保護者や地域の方々に対して説明会や懇談会を継続していく。





加藤 善市

## 古川中心市街地のにぎわいにぎわい

**問** 古川中心市街地のにぎわいを取り戻すための方策は。

**答** 古川中心市街地のにぎわいは、商工の振興、施設の整備だけでにぎわいの創出が再生されるものではない。現在策定を進めている中心市街地復興まちづくり計画において、当初より市各部署全体の横断的な取り組みが必要と捉えており、庁内の調整会議をはじめ関係機関との協議及び調整

などを図っている。

## 米のフランド化

**問** 大崎市の基幹産業である農業を発展させるために、米のフランド化が必要と思うが、方策を問う。

**答** 本年度初の取り組みとしてJ A、県、米卸業者、プロモーション会社等を含めた「大崎の米販売戦略会議」において協議を進めており、現



相澤 久義

## 旧三本木幼稚園跡地の活用

**問** 現在、旧三本木幼稚園は教育財産として教育委員会や本庁の物置がわりに使用されており、フェンスは壊れ、園庭は草ぼうぼう、室内には震災時古川地域の避難所で使用された汚れた毛布と寄贈された骨董品等が置かれている。

貴重な資料なら、きちんとした場所に収納、展示すべきであり、三本木地域は大崎のごみ捨て場ではない。

**答** 現在、園舎には被災した古川東中の教材備品をはじめ古文書や古民具、災害救援物資を保管している。今後定期的な見回り等を実施し、十分な注意を払い管理していく。施設の活用方法は、総合支

園舎周辺は新興住宅地で、景観、環境、防犯等不安である。園舎を解体処分し、福祉施設、公園もしくは宅地分譲等新たな活用方法の考えは。

**大崎の米販売戦略会議**

大崎市こだわり農産物として登録された米を対象に、販売推進とPRにより、市内農家の生産意欲向上を図るため、平成24年6月20日に設置。

市内3JA・宮城県・本市・社団法人・民間会社から横断的に構成され、大崎米のイメージづくりや販売促進に向け展開している。

時点では具体的な提示ができる段階ではなく、新年度予算に向けて鋭意協議を進めている。

## 物流団地誘致と工業団地造成

**問** 三本木スマートインター周辺の丘陵地帯を切り開き、残土で音無、南谷地、北原工業団地の造成をすべきでは。

**答** 交通の要衝として本市をアピールし、物流団地誘致も含め積極的に取り組む。24年度は北原地区の団地調査を行い、造成のための条件整備を進めている。企業ニーズや経済状況を見きわめ、工業団地の整備を図っていききたい。



横山 悦子

## 鳴子峡周辺の整備

**問** 来春のDCに向け、鳴子峡整備の平成24年度実績と、今後の整備方針は。

**答** 平成24年度の実施状況は、こけし館側入り口・花淵山側入り口の整備工事、中山平側入り口・鳴子川入り口の法面設計委託業務等事業費5千760万円で実施している。

また、県の砂防事業で護岸整備、落石防護柵等の整備が実施され、24年度でおおむね整備が完了し、一部の遊歩道

を開放する検討を進めていたが、23年11月の落石事故、24年4月、5月の異常気象により、鳴子峡遊歩道の開放まで2、3年かかる見込みである。

**問** 花淵山のリフト活用は。

**答** 花淵山観光開発株式会社が発行していたが、スキー場を閉鎖して10年経過しており、リフトを再稼働させるには課題が多く、現時点で活用するのは難しい。

**問** 女性や若者を中心にして、こけしフームが起きているが、市としての考えは。

**答** ファンの間口を広げることが大事で、今後の確な情報提供と、こけし関係団体との緊密な情報共有を図り、積極的に支援していく。

## 重度障害者の短期入所

**問** 法改正に伴う、重度障害者受け入れへの考えは。

**答** 平成24年4月1日に法律の一部が改正され、介護職員等によるたんの吸引等が一部できるようになったので、事業者の参入誘導を図っていく。



開放が待たれる鳴子峡遊歩道



大山 巖

### 職員の交通事故

**問** 本市では、交通安全対策

について平成27年度まで計画的な推進を図っているが、議会に提出される専決処分には職員の交通事故が毎回報告されており、本市の交通事故防止対策に疑問を感じている。定期的な交通安全講習会の開催や免許証所持検査、酒気帯び確認等を行っているのか。

また、民間企業では、日常的に事故撲滅に努めている。職員にはどのような防止対策

を行っているのか。

**答** 大震災以降増加し、11月現在で12件の事故が発生している。安全講習会は、警察署から講師を迎えて定期的に実施している。職員には安全意識をなお一層高めてもらうとともに、事故撲滅に向けて改めて努力していきたい。

### 私道と歩道の除雪対策

**問** 国・県道や市道はそれぞれの機関によりほぼ適切に除雪体制がとられ、交通途絶状態はなくなったが、住民の日常生活に密着している私道と歩道は不完全である。

高齢者や身障者等には特に不便をきたしていると感じているが、今後の対策を伺う。  
**答** 年々実施要望箇所が増加する反面、機械やオペレーターが減少している。岩出山地域には歩道用の除雪機が1台あり、岩出山中学校区域を除雪しているが、他地区の除雪は行っていない。今後も除雪体制は検討していく。



歩道の除雪作業（鳴子温泉地域）



山村 康治

### 林業振興策

**問** 輸入木材の増加等に伴い、

国産材の価格低迷やコスト高により、林業は大変厳しい状況にある。今後建設予定の災害公営住宅等へ、地場産材を積極的に利用すべきでは。

**答** 災害公営住宅には、3グループから提案があり、うち1グループからは地場産木材の利用が示されている。県では、県産材を利用した戸建て木造住宅の建築主に対する補

助を、1棟当たり50万円を上限に実施している。本市としては、森林所有者や建築業などで構成するおおさき材利用

ネットワークに参画し、地場産材の利用を促進していく。  
**問** 山の子探検隊（鬼首）のように次代を担う子どもたちが、森林体験や「海の子・山の子」交流事業などを一生懸命展開している。

このような活動に対する支



小沢 和悦

### 新市民病院本院の開院を目指す課題

**問** 現大江川流域の西館、栄町などの冠水問題の根本的解消のためには、陸羽東線から大江川までの新大江川整備事業を完成させ、大江川上流から流入する水を新大江川に誘導する必要がある。

この事業は県土木が担当するが、穂波地区と陸羽東線北側をつなぐ予定の都市計画道路稲葉小泉線整備事業と、一体的に進めないと事業は進め

られないと言っている。

新病院建設事業費については、契約時に比べ、ヒ素処理関連費用を含めると約50億円増とのことだが、その上、患者様が交通混雑などで病院にかかりにくいようであってはならない。

よって、新大江川、陸羽東線以北の整備と新道路整備事業を同時並行で進めながら、道路については、それを国道

援と、交流受け入れ施設の整備充実を図るべきでは。

**答** 水と豊かな生態系を育み、森林の重要性や美しい森林を守る大切さを次代の子どもたちに認識してもらうことは大変重要なので、県や林業研究会と連携し検討する。受け入れ施設は、鳴子温泉地域の既存の施設を活用できないか調査、研究していく。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 木質バイオマスの取り組み
- ・ 市有林管理の長期委託
- ・ 仮設住宅入居者への対応

347号、国道4号に結ぶところまで整備しなければならぬと思う。

これらを踏まえて、平成25年度から着手できるようにすべきではないか。

**答** 前向きな質問を、激励と受け止め感謝する。

また、既に県やJR、国道347号、国道4号との接続を含め協議をしている。

平成25年度から着手という提言だが、進む方向にある。





佐藤 講英

### 学校給食に地場産食材を

**問** 議会報告会において、学校給食の地場産食材利用率が低下していると指摘された。

学校給食基本計画では、「子どもたちの笑顔があふれるおいしい給食」を基本理念に、学校給食のあり方を示している。その中に大崎市の豊かな食材を使用したおいしい給食を提供するとあるが、震災で放射性物質による汚染が心配されたとはいえ、大崎産

食材の利用率が毎年低下している。各地域に農産物の出荷調整や規格指導等ができる組織を設置し、学校給食の利用率を向上させるべきでは。

**答** 地場産食材の供給を進めるためには、コーディネーター機能を持った組織を育成する必要があるので。今後、仮称大崎学校給食食材促進協議会を立ち上げ、強力に推進していく。

現在、JR東北本線の夜間運行ダイヤのうち、仙台発の下り列車は8時台が2本、9時台が1本のみである。特に職場が仙台圏のベッドタウンに当たる松山町駅前やマリスに居住する市民から、帰宅に待ち時間が長く不便だ、せめて20分間隔での運行ができないかとの声が多くある。これは、沿線の鹿島台地域や鹿島台駅を利用する田尻地域



木内 知子

### JR東北本線のダイヤ改正

**問** 現在、JR東北本線の夜間運行ダイヤのうち、仙台発の下り列車は8時台が2本、9時台が1本のみである。

特に職場が仙台圏のベッドタウンに当たる松山町駅前やマリスに居住する市民から、帰宅に待ち時間が長く不便だ、せめて20分間隔での運行が

できないかとの声が多くある。これは、沿線の鹿島台地域や鹿島台駅を利用する田尻地域

**答** JRとは毎年、定期的に懇談を行っている。ことしは9月7日に、宮城県鉄道整備

### 窓口業務の低下対策

**問** コンビニ等で証明発行ができるのであれば、システム上で管理しているデータを出

力して住民票の写しを渡している。各職員がかわる必要性は薄いのではないかと。窓口業務を、非常勤職員や民間委託で検討してはどうか。

**答** 戸籍業務等のある一定の窓口業務は、市の職員が担わなければならないが、職員によらない方法もあると思うので検討したい。

促進期成同盟会の決議として、JR東日本仙台支社に対して、ダイヤ改正を含む要望を提出している。

JRは民間企業なので、採算性や利用者ニーズを考慮した運行を行っており、関係者と利用者の実態把握をすることが必要と考えている。

今後も鉄道利用者の利便性を確保すべく、機会あるごとに要望活動を展開していく。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ごみ処理問題
- ・飼い犬のふん害及び野良猫対策



門間 忠

### 原子力地域防災計画の策定

**問** 内閣府の原子力規制委員会と消防庁は、福島第一原発の重大事故を受け、関係自治体に原子力地域防災計画の策定を求めている。その作成マニユアルによれば、原発から半径30kmを主なる防災計画対象地域としている。

大崎市が立地する半径50kmの地域の防護策については、緊急時の屋内避難や安定ヨウ素剤の服用などとなっているが、女川原発から最も近い鹿

島台竹谷地区までの距離は33・49kmであり、鹿島台総合支所までの距離は36kmであること考えれば、当然のように30km圏内地域と同様の原子力防災計画を策定しなければならぬと考えるが、市長の考えを伺う。

**答** 原子力地域防災マニユアルには、50km圏内の防災計画に不明確な点が多く、今後の方針を待たなければならぬ部分もあるが、実効性の確保のために、情報把握をはじめ避難計画や避難者の受け入れ等、緊急時の行動指針を盛り込み、防災訓練も実施したい。

### 女川原発の撤退を求めるべき

**問** 放射能災害から市民を守るためには、女川原子力発電所の安全性の確立を言うだけでは足りず、速やかな撤退を求めるべきと思うがいかがか。

**答** 原発の再稼働は最大の政治課題であり、政界や市町村の動向を注視しながら適切な判断を行う。



### 地域防災計画(原子力災害対策編)作成マニユアル

原子力施設周辺の自治体が、原子力防災対策として地域防災計画に上定めておくべきと考えられる一般的な事項を、国の防災基本計画及び原子力災害対策指針等に基づいて取りまとめたマニユアル。内閣府原子力災害対策担当室と消防庁が所管となり、平成24年12月に一部改訂され、各自治体に提供されている。



鎌内つぎ子

### 市民参加型事業仕分け

**問** 平成24年度大崎版市民参加型事業仕分けの21事業について、十分な協議と評価を行うためには、説明10分、協議25分、評価5分では不十分ではないか。

**答** 第一回目の事業仕分けよりも協議の時間を10分延長した。

**問** 評価基準として、「実施する必要がある」を廃止、「改善する必要がある」を縮小改善、「現状のまま実施」



市民参加型事業仕分け事前研修会

を現状維持、「広げる必要がある」を拡大改善、「民間・市民協働で行う」を民間実施とのことだが、余りに機械的ではないか。

**答** 事業仕分けを実施する前に、事業説明会などの事前研修を行い、何を議論するのかを踏まえていた。ただ実地を踏まえていた。ただ実地

**問** 事業仕分け結果と市の対応方針について、対象事業は政策的判断を要する事業であるが、市単独事業を仕分けすること自体が乱暴であり、今後、第三者委員会や議会での議論を尊重し、事業仕分けをやめることを検討すべきではないか。

**答** これまでの2回の実施を総括し、検討したい。

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 通学路の安全点検及び安全対策
- ・ 学校給食の根本見直し
- ・ いじめ対策と学力向上
- ・ 田尻診療所の医療体制



高橋 憲夫

### 地方分権時代の行政経営

**問** 最近、行政が抱え込む組織が増えているようだが、NPM（民間手法を取り入れた行政経営）の考え方からすると、これらの組織は民間でやっていただく性質のものではないのか。

**答** 官民連携で、それぞれの役割を念頭において民間活力の活用を図りたい。

**問** 行政経営の血液は税だが、市税の大宗の固定資産税をま

ちの中心部から喜んで納付していた。手だてについては。

**答** まちなか再生を復興の象徴と位置づけ、適正な課税に努め、税収の確保に努める。

**問** 病院本院にかわる集客装置として、図書館を前倒して建設できないか。

**答** 魅力的な図書館をつくれれば人が集まり、十分な集客能力があるのは明らかである。震災で2年遅れ、27、28年



相澤 孝弘

### JR塚目駅周辺の整備

**問** JR塚目駅周辺の整備について、現状の把握と乗降客の今後の見通し、駐輪場とトイレの整備、また隣接する道路の整備が必要ではないか。

**答** 無人駅で正確な乗降客数の把握は困難であるが、10台程度の施設へ約50台の自転車を利用されている現状であり、毎日巡回して整理を行っている。

トイレは、今後の公共下水

道整備計画に合わせて改善を検討していく。

道路については、今後、塚目駅の乗降客の利用状況や駅周辺の整備状況を見きわめながら検討していく。

#### 新市民病院周辺地域の整備

**問** 新市民病院周辺地域の道路環境等の整備で、稲葉小泉線の道路延伸を図るべきではないか。

度での建設完成のスケジュールとなっている。

**問** 議会報告会で、総合支所や指定管理となる公民館のあり方が問われたが、大崎市流地域自治組織はどうなっているのか。

また、自治体が生き残る武器となる、NPOの認証業務を行う考えはないか。

**答** 自治組織の委員の固定化や負担増、若い人材の掘り起こしに苦労している。

また、NPOの認証業務は25年の4月以降に実施したいと考えている。

**答** 前提条件に、大江川の河川改修並びに陸羽東線をまたぐ交差方法を含めた一体的な事業調整を要することから、関係機関と連携して、病院へのアクセスの向上と水害の防止が同時に図れるように努めていく。

#### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 国道108号東回りバイパスの見直し
- ・ 県道古川坂本線の整備
- ・ 防犯の取り組み





山田 和明

## 鬼首地区で薬草栽培

**問** 鬼首地区の産業全体の活性化を図るため、鬼に金棒フ口ジエクト委員会を立ち上げ、また、NPO法人鬼首山学校協議会が発足し定住に向けた取り組みをしているが、鬼首地区での薬草栽培を取り入れた事業について伺う。

**答** 全国的に見ると栽培面積が最も多いのが北海道である。その冷涼な気候が生薬の保存管理に適しているため、栽培

面積も増加している。

そのため、鬼首地区においても栽培普及の可能性を持った作物と考えられる。薬草栽培については、関係機関・団体と連携を図り、調査、研究を進めていきたい。

## 松山定住促進住宅への手すり設置

**問** 国のバリアフリー法では、高齢者、障がい者等の移動等

の円滑化の促進に関する法律が施行され、その観点から、市営住宅の手すりの設置状況と松山定住促進住宅の手すり設置について伺う。

**答** 室内の手すりの設置については、平成9年以降に建設した市営住宅については、トイレ、浴室、廊下などに設置した。

松山定住促進住宅については、階段部分の手すりは未設置となっているので、市として必要性は認識している。緊急度合いを把握し、今後検討したい。

## 議会の主な動き

11月	12月	1月
12日～14日	27日	17日
建設常任委員会所管事務調査（行政視察）	議会報告会	本会議
15日	29日	18日
議会運営委員会	議員全員協議会	本会議
16日	3日	19日
議員全員協議会	議会運営委員会	総務常任委員会
本会議（第5回臨時会）	6日	7日
20日	3日	情報化対策特別委員会
議会改革特別委員会	議員全員協議会	15日
議会報告会	本会議（第4回定例会）	情報化対策特別委員会
21日	6日	16日
議会報告会	総合計画後期基本計画等審査特別委員会	議会改革特別委員会
22日	7日	17日
議会報告会	情報化対策特別委員会	産業常任委員会
26日	10日	18日
調査の（み）	本会議	建設常任委員会
建設常任委員会	11日	21日
	本会議	市民病院建設調査特別委員会
	14日	22日
	議会運営委員会	総合計画後期基本計画等審査特別委員会
		23日
		総合計画後期基本計画等審査特別委員会

## 平成24年議会報告会を終えて

議会運営委員会

委員長 佐藤和好



初回となる本報告会では、まず議会基本条例の理解周知を頂くための質疑応答を行った後、各会場で身近な問題を話し合う意見交換を実施し、263人の市民皆様の御出席と、アンケートを含めて255件の御意見・御提言を頂きました。精査のうえ、所管常任委員会に対応する所存です。

また、初めての試みとなる議会報告会では、種々の改善すべき点も見出すことが出来ました。

今後ともさらなる改善を加え、市民皆様に信頼される議会・議員を目指し、尚一層の研さんに取り組んでまいります。

本委員会は、3人以上の議員で構成する会派の所属議員の比率から選出された8名の委員により、議会の円滑かつ適正な運営、その他重要な問題を協議することを目的に設置されています。

平成24年9月議会で制定された議会基本条例の遵守、進行政管理等は本委員会の所管事項とし、議会報告会の実施要項について協議した結果、34名の全議員を4班編成し、市内31小学校区を2年間で一巡することにしました。24年は11月20日・21日・22日・27日の4日間で16会場において開催しました。



鹿島台第二小学校での議会報告会

## 第4回定例会

## 一般会計補正額15億7,050万5千円を可決

平成24年第4回定例会は、12月6日に招集され、12月18日までの13日間の日程で行われました。

今定例会には、市長提出の平成24年度大崎市一般会計補正予算をはじめとする予算案10件、条例案20件、専決処分の承認案1件、人事案2件、報告1件、その他6件及び議員提出議案3件が提出されました。また、請願1件の審査も行われました。

このうち、議案第171号から同第173号と請願第2号はそれぞれ委員会付託され、ともに閉会中の継続審査となり、議員提出の議案第177号は否決され、その他の議案は原案のとおり可決されました。

## 報 告

## 報告第32号 専決処分の報告について

交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。

## 人 事

## 諮問第11号～諮問第12号 人権擁護委員の候補者の推薦について…原案同意

菊地 淳一 氏（住所：岩出山字葛岡中屋敷37番地）

今藤 みや子 氏（住所：松山下伊場野字中谷地27番地）

## 予 算

## 議案第139号 専決処分の承認を求めることについて（平成24年度大崎市一般会計補正予算（第5号））

…原案承認

衆議院議員総選挙費6,810万円を追加し、総額を640億7,827万9,000円と定めるもの。

## 議案第140号 平成24年度大崎市一般会計補正予算（第6号）…原案可決

震災復興基金費等15億7,050万5,000円を追加し、総額を656億4,878万4,000円と定めるもの。

## 議案第141号 平成24年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）…原案可決

保険財政共同安定化事業拠出金等3,864万2,000円を追加し、総額を144億6,418万2,000円と定めるもの。

## 議案第142号 平成24年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第3号）…原案可決

総額98億4,872万4,000円を変更せず、債務負担行為を追加するもの。

## 議案第143号 平成24年度大崎市下水道事業特別会計補正予算（第2号）…原案可決

消費税納付金等4,343万7,000円を追加し、総額を46億6,179万3,000円と定めるもの。

## 議案第144号 平成24年度大崎市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）…原案可決

消費税納付金等418万4,000円を追加し、総額を7億5,153万4,000円と定めるもの。

## 議案第145号 平成24年度大崎市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）…原案可決

浄化槽整備費2,400万円を追加し、総額を3億5,132万円と定めるもの。

## 議案第146号 平成24年度大崎市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）…原案可決

地方債償還元金2,263万2,000円を追加し、総額を6,020万8,000円と定めるもの。

## 議案第147号 平成24年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）…原案可決

施設管理費116万円を追加し、総額を1億9,340万7,000円と定めるもの。

## 議案第148号 平成24年度大崎市水道事業会計補正予算（第2号）…原案可決

会計制度改正対応業務委託料158万6,000円を追加し、収益的支出予定額を35億3,899万5,000円と定めるもの。

## 議案第149号 平成24年度大崎市病院事業会計補正予算（第3号）…原案可決

会計制度改正対応業務委託料等238万6,000円を追加し、収益的支出予定額を171億3,592万6,000円に、奨学金貸付金120万円を追加し、資本的支出予定額を89億2,420万7,000円と定めるもの。

## 条 例

## 議案第150号 大崎市協働のまちづくり条例策定委員会条例…原案可決

大崎市協働のまちづくり条例の制定にあたり、調査・審議する委員会を設置するもの。



- 議案第151号 大崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例  
…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、指定地域密着型サービス従業者の員数等の基準を定めるもの。
- 議案第152号 大崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例  
…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、指定地域密着型介護予防サービス従業者の員数等の基準を定めるもの。
- 議案第153号 大崎市指定地域密着型介護老人福祉施設の入所定員及び指定地域密着型サービス事業等の申請者の資格を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、指定地域密着型介護老人福祉施設の入所定員等を定めるもの。
- 議案第154号 大崎市都市公園等の設置に関する基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、都市公園の配置・規模の技術的基準等を定めるもの。
- 議案第155号 大崎市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、バリアフリー化に必要な特定公園施設の設置基準を定めるもの。
- 議案第156号 大崎市道路の構造の技術的基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、市道構造の技術的基準を定めるもの。
- 議案第157号 大崎市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、バリアフリー化に必要な道路の構造基準を定めるもの。
- 議案第158号 大崎市道路標識の寸法を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、市道の道路標識の寸法等の基準を定めるもの。
- 議案第159号 大崎市が管理する準用河川に係る河川管理施設等の構造に関する基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、河川管理上必要とされる技術的基準を定めるもの。
- 議案第160号 大崎市市営住宅等整備基準を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、市営住宅の整備基準を定めるもの。
- 議案第161号 大崎市水道の布設工事監督者が監督業務を行う布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、水道布設工事の監督業務者の配置基準等を定めるもの。
- 議案第162号 大崎市下水道条例の一部を改正する条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、公共下水道の排水機など構造の基準等を定めるもの。
- 議案第163号 大崎市市営住宅条例の一部を改正する条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、入居すべき低所得者としての収入基準を定めるもの。
- 議案第164号 大崎市路外駐車場条例の一部を改正する条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、駐車場標識の表示事項を定めるもの。
- 議案第165号 大崎市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例…原案可決  
地域主権改革一括法施行に伴い、駐車場標識の表示事項を定めるもの。
- 議案第166号 大崎市印鑑の登録及び証明に関する条例及び大崎市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例…原案可決  
コンビニエンスストアのない出張所管内で、自動交付機サービス提供のために改正するもの。
- 議案第167号 大崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…原案可決  
人事院勧告に基づき、55歳超え職員の昇給を勤務成績が極めて良好等の場合に改正するもの。
- 議案第168号 大崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例…原案可決  
平成26年3月で廃止となる大崎市立中山小学校を条例から削除するもの。
- 議案第169号 大崎市放課後児童クラブ実施条例の一部を改正する条例…原案可決  
平成25年4月からの岩出山放課後クラブの実施場所等について改正するもの。

### そ の 他

- 議案第170号 損害賠償の額を定めることについて…原案可決  
医療事故の損害賠償額を定めることについて、議会の議決を求めるもの。
- 議案第171号 大崎市総合計画後期基本計画の策定について…継続審査  
総合計画の着実な推進を図るため後期5年間の基本計画策定について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第172号 大崎市産業振興計画・後期計画の策定について…継続審査  
前期5年間の評価と検証等から取りまとめた後期計画策定について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第173号 大崎市都市計画マスタープランの策定について…継続審査  
平成43年までを期間とした基本方針となる計画策定について、議会の議決を求めるもの。

- 議案第174号 指定管理者の指定について（大崎市古川敷玉地区公民館）…**原案可決**  
古川敷玉地区公民館の指定管理者を指定するもの。
- 議案第175号 指定管理者の指定について（大崎市古川農村環境改善センター）…**原案可決**  
古川農村環境改善センターの指定管理者を指定するもの。

意見書

- 議案第176号 県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書…**原案可決**
- 議案第177号 女川原子力発電所を含む全ての原子力発電所の再稼働について慎重に対処することを求める意見書…**否決**
- 議案第178号 女川原子力発電所を含む全ての原子力発電所の再稼働について安全性の確保を十分に行い慎重に対処することを求める意見書…**原案可決**

請願

- 請願第 2号 学校図書館の蔵書整備・充実に関する請願…**継続審査**

【平成24年第5回臨時会分】（平成24年11月16日開催）

報告

- 報告第 30号～報告第 31号 専決処分の報告について  
交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。

その他

- 議案第131号 工事請負契約の締結について…**原案可決**  
古川東中学校校舎新築復旧工事（建築）の請負契約締結について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第132号 工事請負契約の締結について…**原案可決**  
古川東中学校校舎新築復旧工事（電気）の請負契約締結について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第133号 工事請負契約の締結について…**原案可決**  
古川東中学校校舎新築復旧工事（機械）の請負契約締結について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第134号 工事請負契約の締結について…**原案可決**  
古川東中学校屋内運動場・プール棟新築復旧工事（建築）の請負契約締結について、議会の議決を求めるもの。
- 議案第135号 財産の取得について…**原案可決**  
防災倉庫の災害備蓄品としてパック毛布等を購入するため、議会の議決を求めるもの。
- 議案第136号 財産の取得について…**原案可決**  
防災倉庫の災害備蓄品として非常用発電機を購入するため、議会の議決を求めるもの。
- 議案第137号 財産の取得について…**原案可決**  
防災倉庫の災害備蓄品として炊き出しセットを購入するため、議会の議決を求めるもの。
- 議案第138号 財産の取得について…**原案可決**  
地域資源利活用施設整備事業のカントリーエレベーター建設用地を取得するため、議会の議決を求めるもの。

意見が分かれた議案の賛否一覧

- 議案第177号 女川原子力発電所を含む全ての原子力発電所の再稼働について慎重に対処することを求める意見書
- 議案第178号 女川原子力発電所を含む全ての原子力発電所の再稼働について安全性の確保を十分に行い慎重に対処することを求める意見書

議員名	議決結果	八木吉夫	佐藤弘樹	中鉢和三郎	相澤久義	鎌内つぎ子	加藤善市	横山悦子	関武徳	遊佐辰雄	佐藤講英	只野直悦	相澤孝弘	富田文志	齋藤和博	山田明	後藤錦信	山家善男	山村康治	門間忠	木内知子	小堤正人	豊嶋正人	青沼智雄	佐藤和好	高橋憲夫	三神祐司	小沢和悦	大友文司	佐藤勝	大山巖	佐藤清隆	佐々木惟夫	木村和彦	栗田彰	
議案第177号	否	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	議	
議案第178号	可	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	議

「可」→ 可決、「否」→ 否決、「○」→ 賛成、「×」→ 反対、「議」→ 議長



## 第4回定例会 議案審議

平成24年第4回定例会は12月6日に招集され、12月18日までの13日間の日程で行われました。

議案審議の要旨については次のとおりです。

### 観光振興事業

**問** 減額理由と仙台・宮城DCへの取り組み状況はどうか。

**答** 減額理由は、①公益社団法人宮城県観光連盟への会費が、大震災被災で8分の1相当額が減免されたこと、②伊達な広域観光推進協議会への負担金が、沿岸部構成市町の大震災被害に伴い事業内容の確定が8月末に遅れたことから、それぞれ減額補正となったが、仙台・宮城DCに向けては関係市町とも今後一層相互協力し、連携事業などを創出して盛り上げていきたい。

### スポーツ団体支援事業

**問** 補正内容と今後の見込みはどうか。

**答** 既に30件の助成金交付を実施しており、昨年度の申請実績を考慮し補正計上した。今後は、全日本女子ユースフットサル大会や全国小学生バドミントン大会等、9件以上の大会参加が見込まれている。

### 新規需要米普及促進事業

**問** どのような方法で補助する事業なのか。

**答** 農林業振興対策事業補助金交付要綱に基づき、前年度の新規需要米の作付面積から拡大した面積に対し、10a当たり3千円を補助する内容で、当初想定面積より100ha増加に伴う補正計上である。

また、取り扱いは各地域のJAや行政で構成される協議会や委員会などと連携し、補助する内容となっている。

### 障害児福祉サービス事業

**問** 補正内容と状況はどうか。

**答** 国の法改正に伴い、学齢児の支援充実を目的に、放課後等デイサービス事業が創設されたことなどから補正した。当初は、2カ所25人程度だったが、平成23年4月以降に大

崎圏域で3カ所の事業所が開設され、利用者も50人程度に倍増している状況である。

### 道路橋梁除雪等事業

**問** 市道認定された道路の除雪は、適切に実施しているか。

**答** 今年度の除雪路線には、市道や生活道として利用する農道を含めて実施している。また、鳴子温泉地域では部分的に歩道除雪も行っている。

### 庁舎非常用電源整備事業

**問** 設置場所と稼働時間は。

**答** 発電設備は、本庁舎と東庁舎に屋外型発電機を各1基設置する。稼働時間は、本庁舎で1.2日分、東庁舎で1.9日分の連続フル運転可能で、燃料タンクも併せて設置する。

### 災害援護資金貸付金

**問** 援護資金の内容と推移は。

**答** 平成23年7月より貸付実行しており、23年度実績は計387件で、この補正では追加105件の送金予定分を計上した。ピークは23年11月の83件で、24年1月には20件ほど、4月以降は1桁台で推移しているが、公費解体に伴い住宅修繕に充当目的での申請が増えている。

### 商店街活性化事業

**問** 事業内容と運営方針は。

**答** 株式会社まちづくり古川が運営主体となり、醸室内に仮称大崎市観光物産センターを整備する際の支援事業で、観光振興や物産の展示販売、中心市街地の活性化を目的としている。また、まちの駅として設立後は連絡協議会にも加盟し、広域での企画やイベントにも取り組み、交流促進や情報収集を図っていききたい。

### 産業人材育成事業

**問** 減額理由と現況はどうか。

**答** 当初予算から、別事業の集落営農計画書整備事業に振り向けた分である。産業人材育成事業では当初、雇用人数を20名程度予定していたが、現在5社と契約締結し27名を雇用している現況である。

### 浄化槽整備事業

**問** 2千400万円もの大型補正を計上した理由は。

**答** 浄化槽は、当初予算で270基程度の整備を見込んでいたが、昨年11月末現在で256基発注し、設置申し込みも270基に達している。さらに、37基の新規申し込みがあったため補正計上した。

### 消費者行政活性化事業

**問** 消費者の観点から、放射能対策への取り組み現況は。

**答** 防災安全課と協議し、放射能測定機器を購入することにした。また、導入予定機器として、中央公民館設置の県から貸与された同型機器を考へており、現在までの測定実績から、鳴子温泉地域の公民館に配備する予定である。

なお、現在まで測定した検体数では、古川・岩出山・鳴子地域で約9割を占めている。



屋外型発電機（鹿島台総合支所）

# 常任委員会活動報告

各委員を選任した平成24年第3回臨時会以降について、常任委員会の活動及び行政視察の主な内容を紹介します。

## 総務常任委員会

### 行政視察

- 平成24年8月20日
  - 幼稚園、保育所、小学校、中学校の連携教育について（兵庫県豊岡市）
  - 平成24年8月22日
    - ITを活用した総合窓口について（愛知県蒲郡市）
- 平成24年6月8日
  - 4月3日、4日の低気圧による教育施設等の被害状況について（現地調査含む）
- 平成24年8月30日
  - 総合計画・基本計画の見直しについて、外13項目
- 平成24年12月6日
  - 請願審査（請願第2号） 学校図書館の蔵書整備・充実に関する請願）
- 平成24年12月19日
  - 請願審査（請願第2号）
- 大崎市立古川第一小学校校舎新築復旧工事等の進捗状況について

## 民生常任委員会

### 行政視察

- 平成24年10月22日
  - 国民健康保険医療費の抑制について（広島県呉市）
- 平成24年10月23日
  - 障害者の雇用対策について（岡山県総社市）
- 平成24年10月24日
  - 子育て支援について（兵庫県相生市）
- 平成24年6月8日
  - 平成24年度重点項目（主要施策）について、外4項目
- 平成24年6月8日
  - 平成24年度重点項目（主要施策）について、外4項目



ガソリンスタンドで働く障がい者（岡山県総社市）

## 産業常任委員会

### 行政視察

- 平成24年7月17日
  - 再生可能エネルギーの推進について（高知県梛原町）
- 平成24年7月18日
  - 農林業と観光の振興策について（高知県四万十町）
- 平成24年7月19日
  - 商工業と観光の振興策について（高知県高知市）
- 平成24年6月1日
  - 平成24年度の重点施策について
- 平成24年7月13日
  - 株式会社まちづくり古川の事業状況について、外2項目（現地調査のみ）
- 平成24年8月20日
  - 大崎市産業振興計画の見直しについて、外1項目
- 平成24年11月6日
  - 平成24年度上半期の総括について

## 建設常任委員会

### 行政視察

- 平成24年11月12日
  - 柏崎駅前土地区画整理事業について（新潟県柏崎市）
- 平成24年11月13日
  - 旧山古志村の道路・橋梁等復興状況について（新潟県長岡市）
- 平成24年11月14日
  - 黒堀プロジェクトについて（新潟県村上市）
- 平成24年6月4日
  - 建設部所管事業の進捗状況と今後の進め方について、外1項目
- 平成24年9月3日
  - まちなか再生・都市防災推進事業の進捗状況について、外2項目
- 平成24年11月26日
  - 災害公営住宅の進捗状況について、外2項目

- 平成24年7月27日
  - 市民病院陰圧室の不具合について
- 平成24年8月24日
  - 大崎市救急医療体制の基本方針について、外2項目

- ② これからの農業振興策について（現地調査のみ）
- 平成24年11月26日
  - これからの林業及び畜産振興策について（現地調査のみ）

## 編集を終えて

年も改まり、東日本大震災からもうすぐ2年になるとうずくまっています。被災地に住む者として、これらが本当の意味で、復興をいかに果たして行くのかが問われるときであると思います。

また、年末には衆議院議員選挙が行われ、自民党が圧勝し、政権が交代しました。

今年の干支は巳年であり、蛇は脱皮し成長することから、新たに再生することを象徴しています。

大崎市の再生や、市民皆様の暮らしを豊かにするために、議員一同が尚一層の活動に努め、議会だよりにおいても更なる充実を図って参りますので、皆様からの御意見・御要望を頂ければ幸いです。

八木 吉夫

### ◆情報化対策特別委員会◆

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 佐藤 弘樹 |
| 副委員長 | 木内 知子 |
| 委員   | 八木 吉夫 |
| 委員   | 相澤 久義 |
| 委員   | 佐藤 講英 |
| 委員   | 只野 直悦 |
| 委員   | 高橋 憲夫 |
| 委員   | 大山 巖  |



再生紙を使用しています